

65. 職員の流行性ウイルス疾患の抗体が管理とワクチン接種に向けた取り組み

研究の概要

流行性ウイルス疾患、（麻疹、風疹、水痘、ムンプス）においては、ワクチン接種により抗体を獲得することで、発症を予防できる疾患です。医療従事者では患者との接触機会が多く、感染を受けた場合に自身への影響はもちろん、媒介し患者へ拡げた場合の影響は大きく、抗体価を適切に管理し、必要な場合ワクチン接種を受けることが望まれます。

研究の目的と方法

2008年12月より2018年12月までに職員健診で、流行性ウイルス疾患の抗体価測定を行った職員を対象として、医療従事者に必要とされる抗体価レベル、およびワクチン接種が必要な職員がどの程度いるのかを後方視的に解析します。

本研究の参加について

本研究により職員に新たな検査費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されないで厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを使用しないでほしいと希望される方、その他研究に関して質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は新たに試料・情報を取得することなく、職員健診の検査結果を用いて実施する研究です。研究対象者（職員）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

実施期間

研究対象期間：平成20年12月～平成30年12月まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和元年10月30日まで

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

感染制御室 田代里美

当院における研究責任者

感染制御室 田代里美

問い合わせ先

感染制御室 田代里美

電話 096-353-6501